

## 議案第 1 号

### 県立高等学校編成整備計画（令和4年度～令和13年度）について

以下の理由により、県立高等学校編成整備計画案を別紙のとおり提出する。

令和4年3月17日提出

沖縄県教育委員会教育長 金城 弘昌

#### 理 由

県立高等学校編成整備計画は、高等学校等の整備に関する計画として、高等学校の設置や統廃合、学科等の設置など、教育環境の整備を図るため策定している。

現行の編成整備計画は、平成24年度から令和3年度を計画期間としているため、令和4年度以降の新たな計画を策定する必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

# 県立高等学校編成整備計画の概要について

総務課

## 1 概要

県立高等学校編成整備計画は、高等学校等の整備に関する計画として、高等学校の設置や統廃合、学科等の設置など、教育環境の整備を図るため策定している。

現行の編成整備計画は、平成24年度から令和3年度を計画期間としているため、令和4年度以降の新たな計画を策定する必要がある。

## 2 策定の経緯

- (1) 編成整備計画の基本方向（案）を教育委員会会議へ報告（令和3年3月）
- (2) 関係校のヒアリングや意見交換等（令和3年4月）
- (3) 教育施策推進委員会等の実施、編成整備計画（案）の検討（～令和3年10月）
- (4) 外部有識者等による「編成整備に関する懇話会」開催（令和3年10月）
- (5) 県民及び関係団体等への意見照会（令和3年12月～令和4年1月）
- (6) 編成整備計画（案）を教育委員会会議に提案（令和4年3月）

## 3 内容

### 第1章 県立高等学校編成整備計画の基本方向

#### I 計画策定の基本的考え方

編成整備計画の性格、計画の期間、進行管理について示した。

#### II 県立高等学校編成整備の現状及び課題等

社会の変化と生徒の多様化、県立高等学校の現状及び課題、計画の実施状況について示した。

#### III 編成整備計画・学校づくりの在り方

高等学校規模の適正化、各学科の定員の割合、募集停止及び学校の統廃合、1学級当たりの募集定員の在り方、高等学校（学科）の適正な配置等について示した。

#### IV 時代の変化に対応した魅力ある学校づくり

本計画の基本的な方向性として、以下の3つを示した。

- 1 未来の沖縄を牽引しグローバルに活躍する人材の育成
- 2 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の推進
- 3 多様な学びの享受に向けた学校づくり

### 第2章 県立高等学校編成整備計画の実施計画

第1章の「IV 時代の変化に対応した魅力ある学校づくり」で示した方向性を踏まえ、その実現に向けて必要となる具体的な取組を実施計画として策定した。

#### I 未来の沖縄を牽引しグローバルに活躍する人材の育成

##### 1 北部地区への併設型中高一貫教育校の設置

北部地区における人材育成及び教育環境の充実を図るため、同地区に併設型中高一貫教育校を設置する。

- 2 併設型中高一貫教育校への学科等の新設  
併設型中高一貫教育校において、より一貫性・継続性のある教育課程を実施するため、併設高等学校に新たな学科等を設置する。
- 3 中高一貫教育の推進  
中高一貫教育を推進するため、既設校の実績や課題等を踏まえつつ、併設中学校の学級増や、中等教育学校への移行、新たな中高一貫教育校の設置など、様々な可能性を検討する。

## II 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築の推進

- 1 新たな併設型高等特別支援学校の設置  
高等学校におけるインクルーシブ教育システム構築の推進を図るため、北部地区及び中部地区における新たな併設型高等特別支援学校の複数校設置に取り組む。
- 2 障害のある生徒とない生徒が共に学ぶしくみの研究  
令和3年度に県立真和志高等学校に設置した「ゆい教室」の成果と課題等を踏まえ、障害のある生徒とない生徒が共に学ぶしくみの在り方を検討する。

## III 多様な学びの享受に向けた学校づくり

- 1 那覇地区定時制課程の再編  
教育ニーズの多様化に対応するため、那覇地区定時制課程の統合及び連携を図る。
- 2 多様な教育ニーズに対応するための泊高等学校の改編  
県内で唯一、定時制課程と通信制課程の2課程が設置された泊高等学校に、新たに全日制課程を設置し、生徒が自分の興味・関心に応じて、自分のペースで柔軟に学ぶことができる学校に改編する。
- 3 リスタート校（学び直し拠点校）としての定時制課程の連携  
泊高等学校を中心に、各地区の定時制課程をリスタート校（学び直し拠点校）に位置づけ、ネットワークを構築し情報や取組の共有を図ると共に、学び直しのための支援を行う。
- 4 高等学校における多様な学びの在り方の研究  
義務教育段階の学習内容の確実な定着を図る教育課程を研究・実践する「高等学校における多様な学びの在り方研究モデル校」を指定し、その成果や課題等を踏まえ、生徒一人一人の能力や適性に応じた高等学校における多様な学びを全県的に拡充する。

## IV その他

### 時代に合った専門学科等の再編

土木・建築産業やICT関連産業など、今後も人材需要の高まりが見込まれる分野については、関連する専門学科等の設置を検討するとともに、定員割れの状況が続く専門学科等については、近隣学校も含め統合等を検討するなど、時代にあった専門学科等の編成を推進する。

## 4 添付資料

県立高等学校編成整備計画（案）